

2021_ジンギスカンオープンカーリング大会 競 技 方 法

本大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策（日本カーリング協会発出の「スポーツイベントの最下位に向けた感染拡大防止ガイドライン」（R2.6.11）、及び、札幌市有スポーツ施設の利用にあたっての遵守事項（新型コロナ感染症対策 2020.11.27））を実施したうえで開催するので、試合終了後観戦はせず退館すること。

大会 2 週間前の健康チェック票及び行動記録票、及び、大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症への罹患が発覚した場合の報告も課される。

本選で優勝したチームには、2022 年実施（5 月）予定の JKC 札幌本選への出場権を与える。

【札幌予選】 4 月 24 日（土）～25 日（日）

(1) 予選リーグ : 42 チーム

- 1) 3 チームを 1 ブロックとし、14 ブロックでリーグ戦を行う。
- 2) 試合は長さは、6 エンドまたは 90 分とする。
- 3) 試合開始予定時間より LSD を実施する。タイムテーブル表記載の左側のチームが赤ストーンを使用し、先に LSD を行う。LSD の数値が同じ場合、トスにより先攻後攻を決定する。
- 4) 各チームは、代表者 2 名による LSD を実施する。第 1 投目は時計回り、第 2 投目は反時計回りとし、異なる選手が行うこと。第 2 試合の投球者は、第 1 試合と異なる選手が行うこと。ホーム側からボード側へ試投を各人 1 投認める。違反した場合の LSD は 185.4cm とする。
- 5) 試合終了 10 分前にコールするので、その時点で成立しているエンドで試合を終了すること。エンドの成立とは、先攻側リードの 1 投目が投球側のティーラインに到達した時点をいう。
- 6) 試合終了時点で同点の場合は引き分けとする。
- 7) セルフジャッジを基本とし、計測も両チームのスキップが協力して実施すること。但し、計測ができない場合、又は、競技規則上の判断が出来ない場合は、審判・競技役員に申し出ること。
- 8) リザーブの選手が交代する時はエンドの変わり目とし、相手側のスキップに了解をとること。また、交代した選手は、試合には復帰できない。オリジナルラインアップカード及び変更ラインアップカードの提出は不要。
- 9) 得点した時、速やかにスコアボードに点数を入れること。
- 10) 勝ったチームはシートの掃除を、また、使用したストーンのハンドルは両チームで消毒すること。
- 11) スコアに誤りがないかどうか確認した後、両チームのスキップがサインし、負けたチームがスコアシートを大会本部に提出すること。
- 12) 試合開始時間はあくまでも予定時間である。前後して試合が始まることがあるので、次の試合に出場するチームは、いつでも試合が開始できるよう準備をすること。
- 13) 試合終了後、スコアボードの点数は片付けること。

(2) 予選全体の序列

- 1) 予選リーグのポイントは、勝 3、引分 1 点、負 0、とする。
- 2) 全体の序列は、チームのポイント順に並べ、ポイントの多いチームを上位とする。

- 3) 同ポイントの場合、LSD の合計距離が短いチームを上位とする。
- 4) LSD の合計値が同じ場合、個々の値を比べ、小さい値を持つチームを上位とする。
- 5) 2) 3) 4) で順位が決められない場合は、トスで順位を決める。

- (3) 札幌本選（5月14日～16日開催予定）に出場できるチーム
(2) の予選全体の序列により上位 30 チームが本選に出場できる。